



かなざきひさを応援する会・会報 39号 事務局 上山口 1878-9 Tel&Fax 878-7961 携帯 090-4076-2425

E-Mail [kanazakihi@jcom.home.ne.jp](mailto:kanazakihi@jcom.home.ne.jp) URL <http://members2.jcom.home.ne.jp/kanazakihi/>

## 葉山町議会第 1 回定例会が開催されました。 期日平成 22 年 2 月 19 日～3 月 24 日

○平成 22 年度予算案が提出され、予算特別委員会で審査されましたが、委員会では修正案が可決され、3 月 18 日、本会議で委員会報告がなされました。しかし、その本会議で 2 つの組替え動議が出され、いずれも否決され、葉山町としては初めて予算案が否決されました。

- ・組替え動議①案 (近藤・畑中・阿部・守屋議員提出) 下水道整備事業を 4,000 万円減額し、清掃費を 1,000～2,000 万円減額。それを、国民健康保険特別会計に 4,000 万円繰り入れ、子育て支援施策を 1,000～2,000 万円増額する。

↓

4 人の賛成で否決
- ・組替え動議②案 (伊藤・山梨・土佐議員提出) 塵芥処理費とし尿処理費を計 3,000 万円～4,000 万円減額し、それを、児童福祉費を 1,000 万円増額し、国民健康保険特別会計へ 2,000～3,000 万円繰り入れる。

↓

3 人+近藤・畑中・阿部・守屋・森議員の賛成で可否同数となり、議長採決で否決
- ・委員会修正案 (伊東・佐野・加藤・待寺議員提出) 清掃費を 5,342 万円減額し、それを予備費に移す。

↓

4 人+かなざきひさ・笠原・中村・鈴木議員の賛成で可否同数となり、議長採決で否決
- ・町長提出の予算案  
森議員のみ賛成で否決。

○その後、町長が 3 つの修正の意見を加味し、再度予算案を提出する意向を示し、総務部長と財政課課長が夜を徹して奔走する中、町長は夕方早々と自宅に帰っており、そのことが 3 月 24 日の本会議で追求されました。議会としては町民生活に支障をきたすわけにはいかないという理由で再度提出された予算を全会一致で承認しました。

会計名	本年度予算額	前年度現予算額	比較増減
一般会計	90 億 9050 万円	約 87 億 8432 万円	3 億 618 万円
国民健康保険特別会計	約 35 億 6083 万円	約 34 億 1427 万円	1 億 4656 万円
後期高齢者医療特別会計	約 6 億 9523 万円	約 6 億 8217 万円	1306 万円
老人保健医療特別会計	約 551 万円	約 824 万円	△273 万円
介護保険特別会計	約 22 億 9058 万円	約 22 億 1351 万円	7707 万円
下水道事業特別会計	約 11 億 7665 万円	約 16 億 531 万円	△4 億 2866 万円
合計	約 168 億 1930 万円	約 167 億 782 万円	1 億 1148 万円

### ○再提出予算の修正された項目

- ・ 児童福祉費 (10 億 8914 万円を 10 億 9629 万 2 千円に修正)  
6 つの児童館の運営において、非常勤職員の勤務時間を減らし、アルバイト対応としていた当初案に対し、議会からの指摘を受け、修正されました。職員給与費を 767 万 5 千円増額し、アルバイト員賃金を 61 万 3 千円減額しております。
- ・ 清掃費 (11 億 5658 万 4 千円を 11 億 1988 万 4 千円に修正)  
かなざきひさが主張していた修正は、築 33 年の老朽化した焼却炉を今後の見通しもないまま毎年 1 億円強の修繕費をかけて稼働していることに問題をなげかけていました。この予算案では修繕費の工事請負費を 2,500 万円減額しております。町長みずから提案させることにより、ごみ処理方法の将来展望をあきらかにする必要性を実感するべきだと思います。そして、県下ワースト 1 であるごみ処理費用比率を改善する努力が必要です。また、焼却灰等運搬処分事業の委託料を 1170 万円減額しております
- ・ 予備費 (4,000 万円を 6,963 万 8 千円に修正)  
対応の変更により、残った 2,963 万 8 千円を調整のため予備費に繰り入れております。

## ○ かなざきひさの一般質問

今回はごみ問題と障害者施策について質問しました。ごみ問題を討議するために必要ですので、町長のマニフェストである「一期4年に全力投球・次代の町長を養成」の真意を確かめました。

### (1) ごみ問題について

質問と提案	理事者側の答弁
1期でおやめになるとのマニフェストを守るつもりがあるのか。	全力で取り組んでいる最中なので、先のことは明言できない。(町長)
平成21年9月2日、上山口会館にて開催された「町長と語る～ふれあい座談会」において、町民からの同様の質問に「次は出ない」と明確に答弁なさったが。	先ほどの答弁どおりである。(町長)
町長は自身の発言に責任を持つべきである。	先ほどの答弁どおりである。(町長)
ごみに関するマニフェストに「自区内処理を原則に脱焼却・脱埋立て」とあるが、自区内処理という考え方を伺う。	全てを町内で処理するというのではなく、葉山町独自で考えるということである。(町長)
築33年を経過して老朽化した焼却炉に毎年1億円以上の修繕費をかけている。この扱いの将来展望は。	ゼロ・ウェイストを推進し、平成26年3月までにごみを半減する。それまでは適正な維持管理をする。(町長)
その先はどうするのか。	民間業者への外部委託や他自治体との連携も選択肢の一つである。(町長)
他の自治体との連携とは広域ということか。	広域ではなく、燃すことのみを他自治体に頼むということである。(町長)
かつて「逗子市と話し合いをしている」とか「三浦市に埋立てのみをしていただく」とかの答弁があったが、そのような話し合いが続いているのか。	話し合いなどしていない。(町長)
町としての施策が全く見えてこない。町民の皆様にごみをゼロにしてくれとPRしているだけなのか。	PRしているだけではない。モニター実験なども行っている。(生活環境部部長)
どのようなことをしてもごみはゼロにならない。ごみの先進地、岐阜県多治見市も「脱焼却・脱埋立て」を掲げたが、挫折し、熔融炉を建設した。「自区内処理を原則に脱焼却・脱埋立て」というマニフェストも撤回したらいかがか。	撤回はしない。(町長)
県下ワースト1のごみ処理費用を減額する方策は。	委託単価の見直しなどを行っている。(町長)
<p>かなざきひさの考え 守屋町政の頃は2市1町の広域処理という受け皿があったから、年間1億円以上もかかる焼却炉の修繕費を認めてきた経緯があります。今回の予算の質疑やこの質問で全くの無策であることが露呈しました。何の計画もないまま、焼却炉にお金をつぎ込んでいます。この森町長の無責任さによって、ごみ問題は取り返しのつかない状況になる恐れがあり、予算に一石を投じました。</p>	

### (2) 障害者施策について

質問と提案	理事者側の答弁
町の将来像として、町長は「誰もが住み続けたいまちづくり」であると答弁した。誰もがということは障害者も視野に入れているのか。	障害がある人もない人も、である。(町長)
葉山町障害者福祉計画の基本目標に「地域での自立支援の充実」とある。町としてどのような支援をするのか。	葉山町手をつなぐ育成会から要望書が出ている。ケアホームの充実に力を入れたい。(町長)
昨年からケアホームの家賃補助を行っているが、財政難になると、重度障害者手当をカットしたように、不安定な補助である。町有地の無償貸与が将来を見据えた一番安定した助成となる。	民間住宅を借りて運営しているケアホームなので、5年先の契約切れを心配しての要望書である。是非尽力をしたい。(町長)
土地の提供があれば、福祉法人で建設する準備がある。準備のためには、町長の任期中に土地の選定をお願いしたい。	承知した。(町長)
<p>かなざきひさの考え 森町長就任以来、初めて想いが一致しました。実現を望みます。</p>	

- 葉山浄化センター建設工事協定の変更が議案として提出され、審査の結果、入札差金で、まだ議決をされていない第4系列の調整池の攪拌機の設置をしており、事後承諾を求める議案でした。町長は陳謝しましたが、誠意が見られず、否決しました。
- 議員定数3名減の議案が可決されました。平成23年4月の葉山町議会議員の選挙から定員14名となります。